

文芸 くらがわ

俳句

【桜川市石瀨俳句会】

針供養地藏に赤き涎掛け

細谷 充女

幼らの眼ぼつちり雛まつり

萩原 きしの

おでん大根ふうふう吹きて恙なし

三代 みちよ

風花の吹き抜けてゆく獣道

入山 ひろ子

春の空風に抱かれまどろみぬ

渡部 千恵子

風花や両手を出せば深き皺

斎藤 みよ

稜線をたどれば天に寝釈迦かな

小林 啓治

【茂山俳句会】

羽根布団私は鳥になつて寝る

竹林 てる

陸前の鉛の空や鴟の贄

海老沢 静夫

梅含むお札受所の臨時巫女

宮本 立男

梅咲いてやつと職場の決まりけり

海老沢 幸子

白壁に影生む梅や月明り

鈴木 つぎ

着ぶくれてまさかの石に躓きぬ

松崎 いま

試し時きした花種をまた覗く

大関 くに

露のたう探す老婆の手際かな

笠倉 陽子

下萌やデッキチェアを塗り直す

吉原 秀子

飯事や小瓶に詰めし梅の花

吉原 京子

千波湖の水まで匂ふ梅日和

金子 弘毅

七度ひの干支を授かり年新た

今井 繁子

屋根裏は築八十年よ嫁が君

宮本 芳江

懸想文てふ占ひにときめけり

君島 真理子

米寿てふ齡重ねて春菜蒔く

皆川 一女

麦の芽の畝波筑波を遠くせり

鈴木 ノブ子

梅詠んで一日遊ぶ余生かな

塚本 ゆき子

チューリップ自慢作たと友が来る

植竹 ふみ

けふの日を送りて梅の花三分

飯山 昭

短歌

【石瀨短歌会】

たつぷりの湯船につかれば首筋に袖の実二つ

泉 三郎

去年今年つづきて運の昇るとふ友の言葉に希

大関 にち子

望ふくらむ

大関 にち子

夕暮るる田の面を渡るむらさきのけむり広がる師走の空に

広沢 日出子

外出の身仕度鏡に問いつつも曲がりし腰はなす術もなし

石田 守子

カリンの実いまだに五つ残りおり風寒き庭冬至の来たる

山田 しげの

テロなどの多きパリへと赴任せし孫の安否を日々に募りぬ

萩原 きしの

見のかぎり白く襲てる相模湾かもめも飛ばず群れて漂ふ

灌井 幸子

もも色を重ねて散りしく山茶花の花びら霜に震えておりぬ

渡辺 しな子

昨夜の雨しづかに降りて坂上の黄梅三分に開くがうれし

小林 美瑛子

紅葉の高峰山につつまれてわが子の進路を見守りており

浅賀 順子

秋色に囲まれし沼に白鳥は羽根を煽ぎて水面に立ちぬ

榎戸 正江

嬉々として媪の語る子の自慢うなづきながら耳傾ける

古賀 澄

涙とはこれほど温きものなのか年老う吾のほほ伝ひ落つ

鈴木 英雄

暖冬と言えども寒き日夫と行くインフルエンザの予防接種

浜野和 操

脳トレを呆け防止にとしてみるも頭かかえて悩むだけなり

飯田 良江

杳き日に縫いたる衣は牡丹の華やぎありてもう纏われぬ

大久保 富美江

【一般投稿】

親子鳥子の羽ばたきを夢に見て一日千秋の思いで飛び立ちを待つ

梅井 光子

一人暮らしに不安を感じていらっしゃる方、お気軽にご相談下さい。介護の必要な方も訪問介護等を利用されながら生活することが出来ます。

- ・物忘れが多くなった
- ・具合が悪くなった時に心配だ
- ・食事の支度が大変だ
- ・退院した後の生活が不安だ

などの心配ごとはありませんか？

軽費老人ホーム(ケアハウス)
グリーンヴィラ

0296-55-1029

桜川市真壁町田1428



真壁消防署の交差点からつくば方面1つめの信号を左折

あなたの側で、誠実に、忠実に。

株式会社 デジタル印刷
TEL 0296-54-2626 (代)
FAX 0296-54-2724
www.digital-54-2626.com